

大東西小だより あい

学校目標 明るく 元気に 美しく

川越市立大東西小学校通信
7月号 児童数：641名
令和2年 7月 1日 (水)
校長 日出 間 毅

さあ、6月29日より通常の学校生活が始まりました。

6月1日より、地区別分散登校が始まり、8日からパンと牛乳のみの簡易給食へと移行し、22日から通常給食4時間授業となり、ようやく29日より通常授業となりました。

この間、朝昼2回の子供たちの見守りや1年生のお迎え当番など保護者の方々、地域の方々には、ご協力いただきありがとうございました。慣れない登下校班で班長さんは、梅雨の雨の中、顔を引き締め、緊張した表情で登校しています。その姿は、とても頼もしいものを感じます。

分散登校中の6月10日、「こころと体のアンケート」を実施しました。長期休業中の子供たちの心の様子を担任の先生方が知っておくことが目的です。アンケート項目は18項目ありましたが、その中から6項目についてまとめてみました。アンケート結果を分析すると大東西小学校の児童は、この長期休業中、おおむね満足できる生活をしていただいていたのではないかと思います。特に、高学年の児童の学習への取組は、意識の高さを感じました。1年生の児童については、保護者の聞き取りによるアンケートでしたが、2～6年生の児童は学級で実施しました。記名式のアンケートなので、担任の先生方は集計しながら児童一人一人の家庭での様子や相談内容を知る手立てにもなりました。

こころと体のアンケート		令和2年6月10日実施																							
大東西小学校	1学年(82名)				2学年(102名)				3学年(93名)				4学年(123名)				5学年(103名)				6学年(118名)				
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
1 毎日元気に過ごせた。	87%	12%	1%	0%	78%	18%	3%	1%	80%	16%	3%	1%	79%	17%	4%	0%	78%	19%	3%	0%	85%	13%	1%	1%	
2 毎日、家のお手伝いできた。	33%	37%	23%	7%	46%	32%	15%	7%	30%	40%	19%	11%	34%	37%	18%	11%	38%	37%	18%	7%	42%	36%	14%	8%	
3 メールやインターネットなどで悪口を言われた。													2%	0%	1%	97%	0%	2%	1%	97%	1%	0%	2%	97%	
4 毎日、学習に取り組んだ。	70%	18%	10%	2%	46%	37%	13%	4%	39%	45%	12%	4%	67%	27%	4%	2%	58%	32%	9%	1%	53%	39%	8%	1%	
5 学校での学習について行けるか不安である。	18%	23%	21%	38%	27%	15%	12%	46%	20%	33%	16%	31%	16%	19%	20%	45%	43%	23%	17%	17%	19%	33%	23%	25%	
6 先生や大人に相談したいことがある。	4%	6%	12%	78%	6%	6%	7%	81%	1%	6%	8%	85%	2%	2%	4%	92%	2%	2%	7%	89%	2%	2%	6%	90%	

1 はい 2 どちらかというとはい 3 どちらかというといえ 4 いいえ

子供が気持ちを伝えやすい環境を作る。

6月28日の朝日新聞でコロナ禍により生じた子供たちのストレスにどう寄り添えばよいか特集記事が載っていました。読者の投稿の中には、不登校やいじめを心配する声も取り上げられていました。

大東西小の児童の中にも、登校を渋ったり、不安やイライラから、人や物に当たってしまう児童もいるようです。人は、イライラしたり、何かうまくいかないことや嫌なことがあったりすると、

つい人のせいにして、その人の悪口を言うてしまうことがあります。悪口を言うことで自分のイライラをスッキリさせているのかもしれませんが、6年生が修学旅行で行く星野富弘美術館の作品に右のような詩があります。「鏡に映る顔を見ながら思った。もう悪口をいうのはやめよう。私の口から出たことばを、いちばん近くで聞くのは、私の耳なのだから」

新聞の特集の中で、「大切なのは、子供が気持ちを伝えやすい環境を作ること」と精神科医の先生が述べていました。我々大人がイライラを子供に示していたら、子供の心はいい方向に向きませんね。

